

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 08-249393

(43)Date of publication of application : 27.09.1996

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

G06F 13/00

(21)Application number : 07-079389

(71)Applicant : INTEC:KK

(22)Date of filing : 13.03.1995

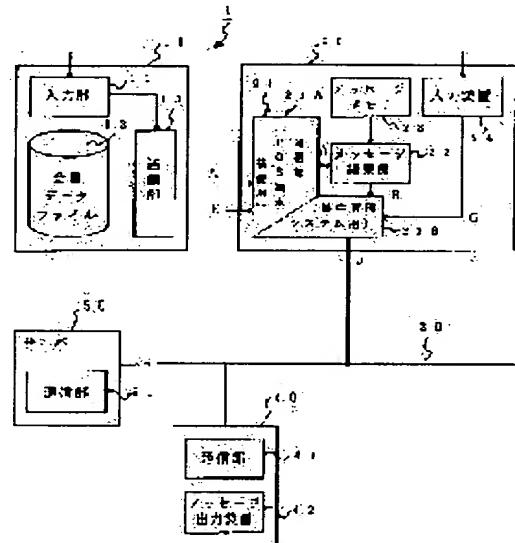
(72)Inventor : MATSUDA TATSUO
HATAGISHI HARUMI

(54) CENTRALIZED MANAGEMENT SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To provide a centralized management system which can send a proper message to respective members through terminal devices.

CONSTITUTION: Member data A on the members are read out of a member data file 12 containing the data regarding the members which are inputted from POS terminal devices 10, a message editing part 22 selects and edits fixed form message data on the basis of the read information to automatically generate message data B matching with the members, and a reproduction terminal device 40 displays them. Consequently, the message data give a good impression to the members to greatly improve the satisfaction of the members, so that the improvement of customer gathering rate and increase of sales can be expected.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-249393

(43)公開日 平成8年(1996)9月27日

(51)Int.Cl. ⁶	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
G 06 F 17/60 13/00	3 5 1	7368-5E	G 06 F 15/21 13/00 15/21	3 1 0 Z 3 5 1 G 3 4 0 Z

審査請求 未請求 請求項の数1 FD (全6頁)

(21)出願番号	特願平7-79389	(71)出願人	391021710 株式会社インテック 富山県富山市牛島新町5番5号
(22)出願日	平成7年(1995)3月13日	(72)発明者	松田 達夫 富山県富山市下新町3番23号 株式会社インテック内
		(72)発明者	畠岸 晴美 富山県富山市下新町3番23号 株式会社インテック内
		(74)代理人	弁理士 高野 昌俊

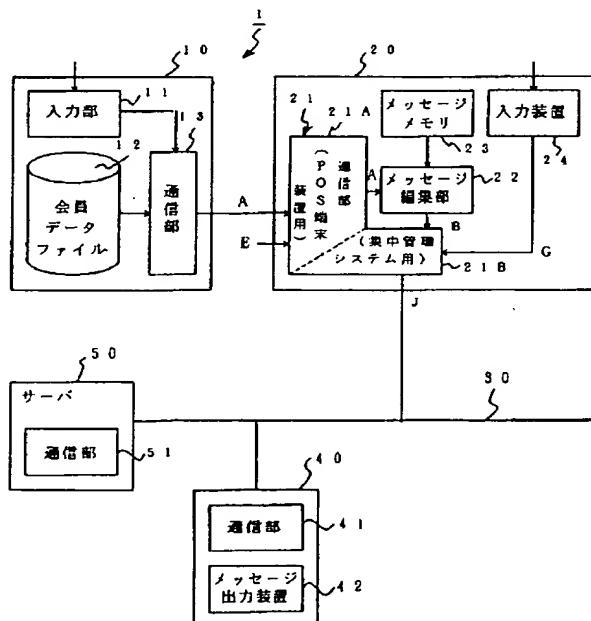
(54)【発明の名称】 集中管理システム

(57)【要約】

【目的】 各利用会員に対して適切なメッセージを端末装置を通して送ることができるよう集中管理システムを提供すること。

【構成】 POS端末装置(10)から入力される会員に関するデータを蓄積する会員データファイル(12)から利用会員の会員データ(A)を読み出し、読み出された情報に基づいてメッセージ編集部(22)で定型メッセージデータの選択、編集を行ない、その利用会員に適合するメッセージデータ(B)を作成し、再生端末装置(40)で表示する。

【効果】 メッセージデータが会員に対して好感を与え、顧客の満足度を格段に向上させ、集客率の向上及び売上げの増加を期待することができる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 それぞれに端末装置が設置されている複数の部屋の各利用状況がPOS端末装置によって集中的に管理される集中管理システムにおいて、前記POS端末装置から入力される会員の利用状況等に関するデータを蓄積する会員データファイルと、前記POS端末装置によって指定された会員に対し前記会員データファイルから所要の情報を読み出す読出手段と、複数種類の定型メッセージデータを格納しておく記憶手段を有し前記読出手段から読み出された情報に基づいて前記指定された会員に対するメッセージデータを定型メッセージデータを基に作成する作成手段とを有し、該作成手段によって作成されたメッセージデータを所要の端末装置に送出することができるようとしたことを特徴とする集中管理システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、会員情報に基づくメッセージ伝送機能を備えたコンピュータによる集中管理システムに関する。

【0002】

【従来の技術】 例えば、カラオケボックスや宿泊施設等において会員管理制度を設け、会員の利用に対して種々の特典を設ける等により会員管理を行うことが広く行われている。このように利用施設を部屋単位で管理する場合、所謂POS端末装置による集中管理システムが採用され、受付に設置されたPOS端末装置から各部屋に設置された端末装置にデータを送り、あるいはPOS端末装置が端末装置からデータを受け取り、POS端末装置によって所要の集中管理を行うコンピュータシステムが広く採用されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 このようなコンピュータを用いた集中管理システムにおいては、POS端末装置から利用会員の利用状況等に関するデータが入力されるにも拘らず、これを集客率の向上等に役立てようとするシステムは皆無であった。

【0004】 本発明の目的は、したがって、この種の集中管理システムにおいて、POS端末装置から入力される利用会員の各種データを蓄積しておき、この蓄積データを利用して各利用会員に対して適切なメッセージを端末装置を通して送ることができるようとした集中管理システムを提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】 上記課題を解決するための本発明の特徴は、それぞれに端末装置が設置されている複数の部屋の各利用状況がPOS端末装置によって集中的に管理される集中管理システムにおいて、POS端末装置から入力される会員の利用状況等に関するデータ

を蓄積する会員データファイルと、POS端末装置によって指定された会員に対し上記会員データファイルから所要の情報を読み出す読出手段と、複数種類の定型メッセージデータを格納しておく記憶手段を有し該読出手段から読み出された情報に基づいて上記指定された会員に対するメッセージデータを定型メッセージデータを基に作成する作成手段とを有し、該作成手段によって作成されたメッセージデータを所要の端末装置に送出することができるようとした点にある。また、会員の生年月日、家族構成等の固有のデータをPOS端末装置から会員データファイル内に格納してもよい。

【0006】

【作用】 会員が施設を利用するときに得られるその会員の利用状況についてのデータが、他の必要なデータ、例えば、会員固有のデータとともに会員データファイル内に適宜に蓄積される。POS端末装置から特定の会員をメッセージ作成のために指定すると、会員データファイルからその会員に関する必要な情報が読み出され、データ作成手段によって、その読み出された情報に見合った適切なメッセージデータが記憶手段に格納されているメッセージデータを用いて作成される。作成されたメッセージデータは所要の端末装置に送ることができる。

【0007】

【実施例】 以下、図面を参照して本発明の一実施例につき詳細に説明する。

【0008】 図1は、本発明による集中管理システムの一実施例を示すシステム構成図である。この集中管理システムはコンピュータを用いたカラオケ集中管理システム1として構成されており、フロントに設置された受付業務を行うためのPOS端末装置10と、各種のメッセージデータを送出するための情報端末装置20とを備えており、POS端末装置10及び情報端末装置20はいずれも通信機能を有するコンピュータシステムとして構成されている。情報端末装置20はPOS端末装置10との間でデータ通信を行うことができるほか、通信回線30を介してサーバ50と接続されており、サーバ50の通信部51を介して各部屋に設置されたカラオケ用の再生端末装置40にメッセージデータを送ることができる。

【0009】 図1では、簡単化のため再生端末装置40は1つだけ示されているが、実際には再生端末装置40は多数設けられており、各部屋に再生端末装置40が少なくとも1台づつ配置されている。すなわち、通信回線30には多数の再生端末装置40が接続されている。

【0010】 先ず、POS端末装置10の構成について説明する。符号11で示されるのは入力部であり、来店した客に関する情報は全てこの入力部11から入力される。したがって、この入力部11は、会員カードの磁気記録内容を読み取るためのカードリーダ、会員又は会員

でない来店者に再生端末装置40を割り当て又は料金の精算等に使用される専用入力ボードから構成される。来店した客が会員である場合には、入力部11からその利用会員の会員番号、及びその時割り当てた再生端末装置40の各データが入力される。

【0011】12は会員に関する種々の情報が会員番号から検索可能なように蓄積され、格納されている会員データファイルである。入力部11から来店した会員の会員番号が入力されると、この会員番号に基づいて会員データファイル12の検索が実行され、図2に示すフォーマットの会員データが得られる。この検索された会員データは前回来店したときまでのデータである。入力部11から今回得られた、使用する再生端末装置40に関するデータを含むその他の入力データがこの検索データに加えられ、このようにして得られた最新の会員データが更新データとして会員データファイル12に格納され、この最新の会員データが通信部13によって情報端末装置20に会員データAとして送られる。すなわち、会員が利用する毎にその時の利用状況についてのデータが加味されて更新され、会員固有のデータと共に会員データファイル12内に蓄積される。

【0012】会員データAは情報端末装置20の通信部21のPOS端末装置用セクション21Aにおいて受信され、メッセージ編集部22に送られる。メッセージ編集部22は複数種類の定型メッセージデータが格納されているメッセージメモリ23と接続されており、通信部21から受け取った会員データAの内容に最も見合ったいずれかの定型メッセージデータをメッセージメモリ23から読み出す。このようにして選択的に読み出された定型メッセージデータに所要の編集を施してその利用会員に対するメッセージデータBが作成される。このメッセージデータBにその利用会員の使用する再生端末装置40に関するデータを加えて成る情報データJは通信部21の集中管理システム用セクション21Bから、サーバ50の通信部51に送られる。

【0013】図3にはこの情報データJのデータフォーマットの一例が示されている。ここで、メッセージの内容は文字情報またはキー情報である。キー情報とは、再生端末装置40で情報端末装置20からの通知内容以外の情報を取得して出力させる場合に使用するものである。例えば、サーバで保持している曲情報を演奏したい場合、サーバからダウンロードするための曲番号を付加する場合を挙げることができる。

【0014】サーバ50の通信部51は、この情報データJを受け取り、そこに示されている使用されるべき所要の再生端末装置40に通信回線30を介してその情報データJを転送する。この情報データJはサーバ50の通信部51を介して所要の再生端末装置40の通信部41に送られる。ここで受け取られたメッセージデータBの内容は、メッセージ出力装置42によって表示され

る。メッセージ出力装置42は、専用の表示装置でもよいが、カラオケ再生用の表示装置を兼用する構成でもよい。また、表示の形態は、映像と音声、映像のみ、音声のみのいずれかであってもよい。

【0015】したがって、メッセージメモリ23には、定型メッセージデータとして、適宜の映像・音声データ、映像データのみ、音声データのみ等の適宜のデータを格納しておくことができる。メッセージメモリ23に定型メッセージデータを追加したい場合、適宜の公知の手段によりメッセージメモリ23に所要のデータを追加格納することもできるし、メッセージメモリ23を新しいものに交換するだけでもよい。

【0016】メッセージメモリ23に格納されている定型メッセージデータに代えて任意のメッセージデータを使用することができるよう、情報端末装置20には任意のメッセージデータを入力するための入力装置24が設けられている。オペレータは入力装置24から任意のオリジナルメッセージデータを入力することができ、このようにして入力されたオリジナルメッセージデータGは通信部21に送られ、メッセージ編集部22からのメッセージデータBの場合と同様にして、所要の再生端末装置40にオリジナルメッセージデータGを送ることができる。

【0017】以上、図1に基づいてカラオケ集中管理システム1について説明してきたが、次に、図4を参照してメッセージ編集部22について詳しく説明する。図1に示したメッセージ編集部22は、図示しないメモリに格納されているメッセージ編集プログラムが情報端末装置20を構成するコンピュータにおいて実行されることにより遂行される機能を示している。

【0018】図4は、このメッセージ編集プログラム60を示すフローチャートであり、このフローチャートに基づいてメッセージ編集部22の動作を詳しく説明する。定型メッセージ編集プログラム60は、再生端末装置40が設置されている部屋に利用者を割り当てた場合に出力される入室情報Eを通信部21のPOS端末装置用セクション21Aを介して受け取った場合に起動され、先ずステップ61でその利用者が会員であるか否かが判別される。利用者が会員でない場合にはこのプログラムの実行を直ちに終了し、メッセージは送出されない。

【0019】利用者が会員である場合、ステップ62に入り、会員データAに基づいてこれまでの利用回数がチェックされ、所定の実績を示す実績点数が10点以上であるか否かが判別される。もし実績点数が10点以上であるとステップ63に入り、利用実績サービス用のための

「〇〇様、いつもご利用ありがとうございます。10ポイント獲得のため、1時間無料サービス！」
という内容の第1定型メッセージデータがメッセージメ

モリ23から読み出される。そして、〇〇の箇所に会員データAを参照してその会員の名前を挿入する編集が実行され、これにより送出すべきメッセージデータBが準備される。しかし後、ステップ69に入り、ここでメッセージデータBが通信部21に送られる。通信部21における以後の処理は前述の通りである。

【0020】ステップ62の判別結果がNOとなるとステップ64に入り、ここで、その会員に特典がついているか否かが会員データAに基づいて判別される。特典がついている場合にはステップ65に入り、ここで特典サービス用のための

「〇〇様、いらっしゃいませ。ご来店〇人達成。今日は、10%割引き！」

という内容の第2定型メッセージデータがメッセージメモリ23から読み出される。そして、〇〇の箇所に会員データAを参照してその会員の名前、人数を挿入する編集が実行され、これにより送出すべきメッセージデータBが準備される。しかし後、ステップ69に入り、ここでメッセージデータBが通信部21に送られる。通信部21における以後の処理は前述の通りである。

【0021】ステップ64の判別結果でNOの場合にはステップ66に入り、ここで今日がその会員の誕生日であるか否かが会員データAに基づいて判別される。ステップ66の判別結果がYESとなるとステップ67に入り、ここで、誕生日用のための、

「〇〇様、〇〇月〇〇日誕生日おめでとうございます。」

という内容の第3定型メッセージデータがメッセージメモリ23から読み出される。そして、〇〇の箇所に会員データAを参照してその会員の名前、月日を挿入する編集が実行され、これにより送出すべきメッセージデータBが準備される。しかし後、ステップ69に入り、ここでメッセージデータBが通信部21に送られる。通信部21における以後の処理は前述の通りである。

【0022】ステップ66の判別結果がNOの場合にはステップ68に入り、ここで、来店挨拶のための「〇〇様、いらっしゃいませ。」

という内容の第4定型メッセージがメッセージメモリ23から読み出される。そして、〇〇の箇所に会員データAを参照してその会員の名前を挿入する編集が実行され、これにより送出すべきメッセージデータBが準備される。しかし後、ステップ69に入り、ここでメッセージデータBが通信部21に送られる。

【0023】上記の場合には、利用会員の利用状況その他のデータにより、4つの定型メッセージデータのうちの1つが選択され、会員データAを参照して編集され、メッセージデータBとして出力される構成となっている。しかし、定型メッセージの内容、数はこれに限定されることなく自由に定めることができる。また、定型メッセージデータの編集も、この一例に限定されず、その

他適宜に編集することができる。

【0024】次に、図5を参照して、入力装置24からオリジナルメッセージデータGが入力された場合の処理について説明する。図5は、オリジナルメッセージデータGを処理するための処理プログラム70を示すフローチャートであり、この処理プログラム70は入力装置24からオリジナルメッセージデータGが出力されたことに応答して起動され、実行される。ステップ71では、入力されたオリジナルメッセージデータGを通信情報に編集し、次のステップ72においてオリジナルメッセージデータGを送信する。

【0025】以上説明したように、図1に示したカラオケ集中管理システム1によれば、来店した会員の利用状況を含む種々のデータを来店のたびに会員データファイル12に蓄積しておき、来店時において利用会員が割り当てられた部屋に入ったタイミングでこの蓄積されている会員データAに基づいて、予め格納されている複数の定型メッセージデータのうちから適切なものを選び出して、その会員にマッチするように編集し、その会員が利用することになっている再生端末装置40においてそのメッセージデータが表示される。すなわち、利用会員が割り当てられた部屋に入ったタイミングで、その利用会員の利用状況等に適ったメッセージが再生端末装置40において表示される構成である。また、情報端末装置20の入力装置24を用いてオリジナルのメッセージデータGを作成し、これをその再生端末装置40で同様にして表示することができる。

【0026】したがって、このメッセージが会員に対して好感を与え、店と会員との間の親近感が増し、顧客の満足度を格段に向上させることができる。この結果、話題の提供に役立つという効果も生じ、したがって、集客率の向上及び売上げの増加を期待することができる。この場合、顧客に対する上記のメッセージサービスは自動的に行われる所以人件費の増加なしにサービスの向上を図ることができるという利点も有している。特に、本実施例にあっては、フロントで受付を済ませた後利用会員が割り当てられた部屋に入ったタイミングで、その利用会員の利用状況等に適ったメッセージが使用される再生端末装置40或いはその他の適宜の端末装置で表示されるので、その満足度はより大きくなるという格別の利点がある。

【0027】

【発明の効果】本発明によれば、利用会員の利用状況データ等からその利用会員に対するメッセージを自動的に作成し、それを適宜の端末装置において表示するので、このメッセージが会員に対して好感を与え、店と会員との間の親近感が増し、顧客の満足度を格段に向上させ、来店の頻度を高めることができる。また、話題の提供に役立つという効果も生じ、したがって、集客率の向上及び売上げの増加を期待することができる。さらに、顧客

に対する上記のメッセージサービスは自動的に行われるるので人件費の増加なしにサービスの向上を図ることができるという利点も有している。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明によるカラオケ集中管理システムの一実施例を示すシステム構成図。

【図2】図1の会員データファイルに蓄積される会員データのデータフォーマットを示す図。

【図3】情報データのデータフォーマットを示す図。

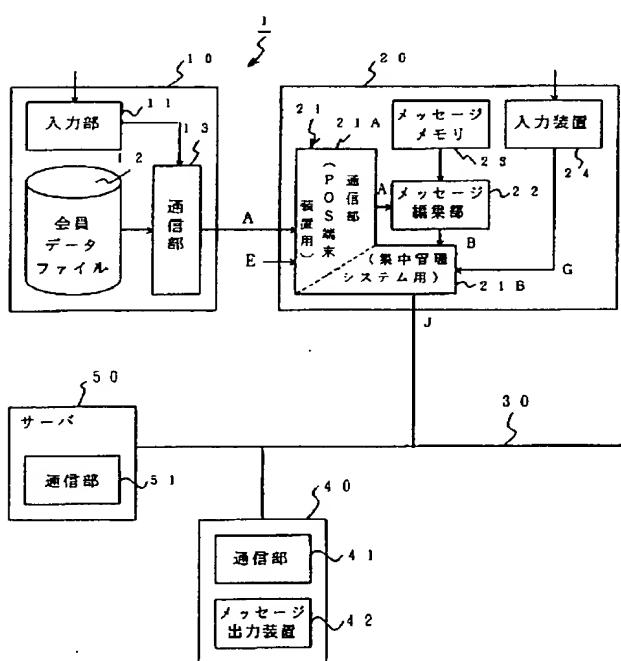
【図4】情報端末装置において実行される定型メッセージ編集プログラムを示すフローチャート。

【図5】オリジナルメッセージデータを処理するための処理プログラムを示すフローチャート。

【符号の説明】

- 1 カラオケ集中管理システム
- 10 POS端末装置
- 12 会員データファイル
- 20 情報端末装置
- 22 メッセージ編集部
- 23 メッセージメモリ
- 30 通信回線
- 40 再生端末装置
- 42 メッセージ出力装置
- 50 サーバ
- A 会員データ
- B メッセージデータ
- J 情報データ

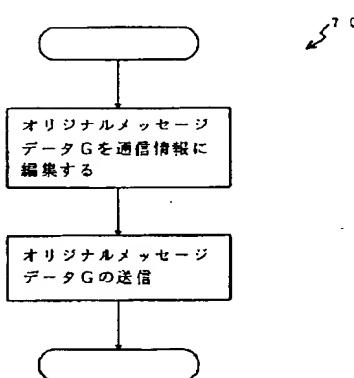
【図1】



【図2】

基本データ					実績データ		
会員番号	氏名	生年月日	住所	性別	利用回数	特典情報	(その他)

【図5】



【図3】

利用結果	メッセージ内容
------	---------

【図4】

